



アイヌ語ネコンネコン

「お昼寝」って何て言うの？

網走市・網走小6年 吉田美里さん



瀧口：今日のお題は「お昼寝」です。北原さんはお昼寝、好きですか？

北原：名前に「モコロ」（ねむる）という言葉が入っているぐらいだからね。ねむるのが早い（トゥナッ）からモコトウナッ。

瀧口：そうでしたね。質問者の吉田さんは、お昼寝が一番好きなことなんでしょう。アイヌ語でお昼寝は「トカッモコロ」。トカッは「昼」ですね。

北原：「私はお昼寝が一番好き！」って、何て言う？

瀧口：十勝方言では「トカッモコロイオッタ（一番）クエラマスイ（私は好き）」ですね。仕事なんか、どうしてもねむくてうとうとするんじゃないくて、昼間から堂々とお布団に入っているのが、私は大好き～。布団オ

ッタ クホツケ チク クポツケ ワクサンベシトゥリ（布団に寝ると、私は温かくなって気持ちがいい）。

北原：うたた寝もいいけどね。「うたた寝する」は、日高管内平取町の沙流の言い方ではサナシホツケ。仮に寝る。

瀧口：ほお～。道東ではエスイパ。エ（頭）をスイパ（なんどもふる）という意味。ねむりながら、こっくりこっくりする様子を言っているんだな～と思った。

北原：「寝相が悪い」は、幌別市の幌別ではモコロコオマナン。ねむり（モコロ）ながら（コ）旅する（オマナン）という意味。釧路管内弟子屈町の屈斜路ではシロケツパリ。シリ（そこら中を）オケツパリ（けちらかす）。

瀧口：ねむりながら旅する！そこら中をけちらかす！どちらも面白いね。



題字・イラスト 小笠原小夜

このコーナーでしようかいしたアイヌ語の発音は「まなぶんデジタル」の専用ページ=QRコードで聞けます。発音の案内は今回で終了します。



「〇〇ってアイヌ語で何て言うの？」。小学生から寄せられた質問に、アイヌ民族の2人があーだこーだいうコーナーです。考えついた言葉は公式でもなんでもなく、結論もとくにしません。ネコンはアイヌ語で「どう（言うの?）」という意味です。

北原モコトウナシ 1976年、東京都生まれ。ルーツは樺太（サハリン）。北海道大学教授。わかしのアイヌ民族の暮らし、特に言葉、音楽、文学、宗教のことを調べている

瀧口夕美 1971年、釧路市生まれ。阿寒湖畔のアイヌコタンで育ち、幼少期からアイヌのおどりを習う。現在は京都市在住で、編集グループSUREという出版社の代表